

R3年度 スマートシティ事業合同審査 採択結果

項番	事業を行う地域	実施団体	事業名	事業概要	未来技術社会実装事業	データ連携促進型スマートシティ推進事業	地域新MaaS創出推進事業	日本版MaaS 推進・支援事業	スマートシティモデルプロジェクト	採択事業のうち複数事業連携が見込まれるもの	過年度事業の対象
1	北海道札幌市	ス) スマートウェルネスシティ協議会	ス) 官民データ流通促進基盤構築を通じた産官学連携の市民参加型データまちづくり推進事業	ス) ・市民に地域ポイントを提供し取得した移動データ等を複数分野の施策に活用するアプリ、事業継続のための官民データの一体的な利用環境の整備、まちの賑わい創出や市民の行動変容誘導策等に資する「新しい目的のためのスマート・プランニング手法」の実証実験。					◎	○	H29デ、R2日、R2-R1ス
2	北海道旭川市	未) 旭川市	未) ドローン・IoT等の未来技術を活用した非対面医療サービスの構築	未) ・オンライン診療体制整備事業 ・非対面型物流構築事業	○						
3	北海道室蘭市	地) 公益財団法人室蘭テクノセンター	地) 地域住民とともにつくりあげる室蘭MaaSとデータ活用による持続可能な公共交通再構築事業	地) ・公共交通サービスが限定的なエリアにおいて、需要側・供給側の双方にとって受容・持続可能なオンデマンド交通・相乗りタクシーのサービス水準（料金・乗降スポット等）を導出するため、事前や実証期間中のヒアリング等を通じたサービス水準の設定・更新と、それをアジャイルにサービスに組み込めるシステムの構築に取り組む。			○				
4	北海道帯広市	地) 十勝・帯広新モビリティ検討協議会(仮)	地) 十勝・帯広オールニュータウン再活性化事業におけるモビリティ実証	地) ・交通結節点である帯広駅から郊外の住宅地である大空団地までの区間を対象に、車両改造を行いマルシェ機能を付与した路線バスの運行を行い、交通事業者の収益多角化・事業性改善効果、住民の受容性の検証を行う。			○			○	R2日
5	北海道芽室町	日) 芽室町地域公共交通活性化協議会	日) 「みんなのコミタク」共生・支援型芽室MaaS事業	日) ・高齢化が進む農業地域居住者の市街地への移動と買物を支援する為、新たなサブスクリプション型乗合デマンドタクシーを導入するとともに、商業従事者との連携を図る。				○			
6	北海道更別村	デ) 更別村 ス) 更別村スマート産業イノベーション協議会	デ) 本気のDXのためのデータ連携基盤スタート事業 ス) 更別村スマートシティの情報共有3D都市モデルとコミュニケーションタブレットの実証事業	デ) ・都市OSの整備 ・他事業で整備した産業用ドローン、3D都市モデルなどのデータ連携 ス) ・3D都市モデルを作成し、農業ドローンの取得データや飛行経路、台風被害を図上再現し、合意形成支援ツールとしての有効性を検証及び高齢者向けコミュニケーションタブレットを高齢者宅に設置し、有効性や高齢者の負担・不安の有無を検証する実証実験。	※	○			○	○	R2-H30未
7	岩手県陸前高田市	未) 陸前高田市	未) 自動運転サービスの活用による高田松原津波復興祈念公園等における伝承活動促進事業	未) ・高田松原津波復興祈念公園を起点とした自動運転サービス社会実装	○						
8	宮城県仙台市	デ) 仙台市 ス) 仙台市、東北大学、NTTドコモ 他	デ) 仙台市×東北大学スマートシティ データ連携基盤導入によるスマートシティ推進事業 ス) 共体験コミュニケーション事業	デ) ・都市OSの整備 ・人流や密状態を見える化し、人流分析や感染症対策の注意喚起等を支援する「都市の見える化サービス」の実現 ・他事業で整備したドローン観光サービス等とのデータ連携 ス) ・ロボット/ドローンの360°映像をXRでリアルタイムに共有することで、遠隔地におけるリアルな体感・対話(共体験コミュニケーション)の実現を目指す実証実験。					○ (支援地区の拡大)	○	R2-R1ス
9	仙台市泉区南光台・八乙女地区	地) MONET Technologies 株式会社	地) 福祉・交通事業者の相互補完によるMaaSモデル実現に向けた実証事業	地) ・現状各施設が車両を所有し実施している福祉送迎を域内で合理化すると共に、送迎車両を活用したオンデマンド相乗りによる移動支援を併せて行い、車両稼働率向上・車両数削減効果及び事業性の向上効果の検証を行う。			○				
10	秋田県仙北市	ス) 令和3年度仙北市スマートシティ推進コンソーシアム	ス) 防災情報プラットフォームを用いたスマートシティ実証事業	ス) ・気象情報等のオープンデータや行政が発信する各種防災情報を一元管理するプラットフォームの構築と、防災情報の可視化及び共有による災害対応のスマート化に向けた実証実験。	※				◎	○	R2-R1未 R2-R1ス
11	福島県会津若松市	地) 会津SamuraiMaaSプロジェクト協議会 ス) (仮称) 会津デジタル防災協議会	地) 共通ID・決済を活用した地方版MaaS強化プロジェクト ス) 命を守るデジタル防災プロジェクト	地) ・地域の交通事業者と地元事業者がMaaS基盤を介して連携を行うことで、観光収益や店舗での購買活動を活性化させ、地域公共交通サービスの自立・維持と地元事業者の売上向上を目指す取り組みの一端。今年度は、構築済みのMaaS基盤を活用し、地元商店における購買情報(レシート情報)を用いた詳細な売上算出に基づく成功報酬型の広告収入モデルの実装・導入効果の検証を行う。 ス) ・情報提供にとどまらない避難誘導やリアルタイムな家族安全確認サービスなどのパーソナライズされた防災サービス(マイハザード)を都市OS上で提供する実証実験。			○		◎	○	H29デ R2地 R2-R1日
12	福島県南相馬市	ス) ふくしまロボットシティ推進協議会	ス) ロボットを活用した認知症対策を核とする健康まちづくり事業 ～ロボットを社会インフラ労働力とする東日本震災地域の復興～	ス) ・被災地域でロボット(AI, IoT等含む)を活用した認知症予防につながる健診/運動食事療法による健康まちづくり事業を実施。					○	○	R2ス
13	茨城県つくば市	ス) つくばスマートシティ協議会	ス) スマート・コミュニティ・モビリティ実証調査(つくば医療MaaS)	ス) ・AIデマンドタクシーや院内自動走行モビリティ等を用いた一連の病院受診に係る交通弱者の利便性向上及び医療従事者の負担軽減の実証実験。					◎	○	R1日 R2-R1ス
14	茨城県守谷市	ス) もりやグリーンインフラ推進協議会	ス) グリーンインフラ×スマートシティ 自然共生型スマートシティモデル事業	ス) ・環境配慮型の都市形成のためのデジタルエコマネー導入のための実証実験。					○	○	R2-R1ス
15	栃木県佐野市	デ) 一般社団法人スマートソサエティファウンデーション	デ) 栃木県佐野市スマートソサエティ推進事業	デ) ・都市OSの整備 ・避難所の非接触受付、体温検知システム、密情報把握などコロナ禍での防災システムの構築 ・AR街歩きアプリの開発					○		

R 3 年度 スマートシティ事業合同審査 採択結果

項番	事業を行う地域	実施団体	事業名	事業概要	未来技術社会実装事業	データ連携促進型スマートシティ推進事業	地域新MaaS創出推進事業	日本版MaaS 推進・支援事業	スマートシティモデルプロジェクト	採択事業のうち複数事業連携が見込まれるもの	過年度事業の対象
16	群馬県前橋市	前橋市等 未) 前橋市 日) 前橋市新モビリティサービス推進協議会 ス) 超スマート自治体研究協議会	未) 地域「講」モデルでの地域金融再興に向けたDX実証事業 日) MaeMaaS (前橋版MaaS) 社会実装事業 ス) 官民ビッグデータを活用したE B P M推進事業	未) ・「まえばしID」構築事業 (識別番号・本人確認・電子署名・ストレージ・ペイメント) ・まえばし「講」モデルのDX基盤整備事業 (地域内決済機能の実装) 日) ・これまでの実証事業からの継続した取り組みとして、地域公共交通の利便性向上及びMaeMaaSの社会実装のため実施する。 ス) ・AI (ディープラーニング) により空き家の特徴を学習し、建物外観から空き家判定を行う実証実験。	○			○	○	○	R2-R1日、R1地、R2-R1ス
17	群馬県嬭恋村	デ) 嬭恋村	デ) 観光・関係人口増加のための嬭恋スマートシティ	デ) ・都市OSの改修 ・観光施設と観光客のビッグデータを都市OSに集約し、観光客への発信や観光事業者による分析・企画に活用 ・既存防災サービスとの連携		○				○	R2デ
18	埼玉県さいたま市	さいたま市等 未) さいたま市 デ) 一般社団法人美園タウンマネジメント ス) さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム	未) 流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」の社会実装及びMaaS連携 デ) 共通プラットフォームさいたま版の分野間・都市間連携促進事業 (都市OS構築) ス) さいたま市スマートシティ実行計画の推進	未) ・流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」 デ) ・都市OSの改修 ・埼玉県横瀬町との共同利用を実施 ・他事業で整備した感染症予報、AIオンデマンド交通などのデータ連携 ス) ・郊外住宅地におけるAIオンデマンド交通サービスの地域連携民間実装モデル、中心市街地におけるシェア型マルチモビリティのライフサポート型MaaSへの拡張及び3D都市モデルを活用したウォークアブル空間評価等の実証実験。	○	○		◎		○	R2デ R2-R1ス
19	埼玉県熊谷市	ス) 熊谷スマートシティ推進協議会	ス) 熊谷スマートシティ	ス) ・気象台や小学校の気象データを取得し、暑さ情報を簡便に提供すると共にまちなかで利用可能なクーポンを提供できるアプリを開発する実証実験。				◎		○	R2ス
20	埼玉県入間市 宮寺・二本木、東金子、金子、藤沢第一・第二エリア	地) 株式会社 アイシン	地) モチベーション向上による高齢者の外出創出の仕組みの構築	地) ・オンデマンド交通を活用し外出や運動へのモチベーションを高め、高齢者、特にリハビリ患者の外出を促進し、要介護・虚弱高齢者の増加を予防/抑制する社会システムの構築を自治体・医療機関・交通業者の協業により目指す。今年度はオンデマンド交通サービスの試験導入等による外出促進効果・地域住民の健康増進効果を検証すると共に、得られた移動・健康データを元にした、交通政策・福祉政策の連携・一体運用を目指す。			○				
21	埼玉県毛呂山町	ス) 毛呂山町まちづくりDX (毛呂山版PLATEAU) 推進協議会	ス) 毛呂山町まちづくりDX (毛呂山版PLATEAU) 推進事業	ス) ・3D都市モデル上に、大型商業施設出店前後の交通流量、交通危険箇所、災害発生時の避難行動データ等を表示させる取組及び行政DX推進等の実証実験。				◎		○	R2-R1ス
22	千葉県柏市	デ) 一般社団法人UDCKタウンマネジメント ス) 柏の葉スマートシティコンソーシアム	デ) 柏の葉データプラットフォーム (都市OS) におけるマイナンバーカード対応などユーザビリティの向上 ス) IoT技術の導入による患者の待ち時間軽減と院内業務効率化、分野横断データ連携によるコンセプトの実現	デ) ・都市OSの改修 ・マイナンバースマホ本人確認機能の実装 ・スマートライフバスにおけるUI/UX向上 ス) ・遠隔チェックインアプリ (遠隔チェックイン)、AIビーコン (院内人流計測)、可視化ツール (院内人流可視化プログラム) を連携し、通院患者の動線を把握し、病院への交通誘導等のサービス拡充に向けた実証実験。		○		◎		○	R2-R1ス
23	東京都千代田区 (大手町・丸の内・有楽町地区)	日・ス) 大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム	日) 大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティプロジェクト 大丸有版MaaS事業 ス) 大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティプロジェクト 大丸有リ・デザイン実証事業	日) ・多種多様なモビリティ及び、目的地となる商店街やワークスペースなどが多数存在する大丸有地区において、交通手段を含めた人の一連の行動データを連携させ、エリアサービスと一貫したハーフマイル移動の支援を行うとともに、情報提供により誘発される行動変容について分析し、さらに魅力的なラストハーフマイルエリアを目指す。 ス) ・屋内外の3Dマップによる仮想空間を作成し、屋内外をシームレスに移動するロボット配送及び交差点通行処理技術検討を含む歩車共存の道路空間における自動運転バス走行の実証実験。				○	◎	○	R2-R1ス
24	東京都港区 (竹芝地区)	ス) 竹芝Marine-Gateway Minato協議会	ス) Smart City Takeshiba	ス) ・バーチャル竹芝 (3D都市モデル) において、一時避難施設からの地区内主要交通機関への帰宅シミュレーションを実施し、混雑リスクが高い箇所を抽出し、地区内関係者、来街者に共有する実証実験。				◎			
25	東京都大田区 (羽田空港跡地第1ゾーン)	ス) 羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会	ス) 羽田空港跡地第1ゾーン整備事業 (第一期事業)	ス) ・デジタルキーによるパーソナルモビリティシェアリングサービス、エレベータとロボットの連携、ロボットデリバリーサービス、監視カメラを用いた人流・動態分析を行う実証実験。				◎		○	R2デ R2-R1ス
26	山手線周辺/横須賀市	日) 全日本空輸株式会社 (Universal MaaSプロジェクト)	日) Universal MaaS~誰もが移動をあきらめない世界へ~	日) ・移動躊躇層が抱えている課題を、Universal MaaSのコンセプトに従って利用者と事業者双方の視点から解決し、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。2020年度の実証実験結果を踏まえ、順次社会実装を進める。				○		○	R2日
27	川崎市、箱根町	日) 川崎・箱根観光 MaaS実証実験推進協議会	日) 川崎・箱根観光 MaaS実証実験	日) ・道路混雑や駐車場入庫待ち渋滞の緩和・解消、カーボンニュートラル実現にむけたCO2排出量削減を図るための、近場のお出かけスポット・観光地への来訪促進及び来訪時の公共交通利用促進を目的とし、公共交通の乗車券購入・改札通過用コード表示、特急列車・バス予約、及び観光施設等の利用券の購入等の機能を、MaaSシステム「EMot」でワンストップで提供				○		○	R2-R1日、R2地

R 3 年度 スマートシティ事業合同審査 採択結果

項番	事業を行う地域	実施団体	事業名	事業概要	未来技術社会実装事業	データ連携促進型スマートシティ推進事業	地域新MaaS創出推進事業	日本版MaaS 推進・支援事業	スマートシティモデルプロジェクト	採択事業のうち複数事業連携が見込まれるもの	過年度事業の対象
28	神奈川県横須賀市、三浦市	日) 観光型MaaS「三浦Cocoon」推進協議会	日) 観光型MaaS「三浦Cocoon」の実装による分散化・混雑回避事業	日) ・観光型MaaS「三浦Cocoon」と「観光ナビ」を連携させ、風光明媚なスポットや施設を巡る観光ルートを設計・発信することで、渋滞の解消など社会課題の解決を図る。同時にモビリティ基盤も整備することで三浦半島の観光周遊化を実現する。				○		○	R2日
29	新潟県新潟市	ス) 新潟市スマートシティ協議会	ス) スマート・プランニングをエンジンとしたクリエイティブシティの実現	ス) ・スマートシティコミュニティの拡大に向け、「タッチポイントデバイス」の導入等、地域と来街者の接点の強化。それらを用いたサービス・プラットフォームや、既存アセットを組み合わせた実証実験。					◎	○	R2-R1地 R2-R1ス
30	富山県朝日町	日) 朝日町MaaS実証実験推進協議会	日) マチ活性化と健康増進を目指し、ポイントとLINEを活用した地域生活者向けMaaSサービス実証実験	日) ・公共交通（コミュニティバス・タクシー・地域住民主導の自家用有償旅客サービス）に関するサービス、商業・健康づくり情報を提供し、かつ、地域で使えるポイント（きときとポイント）も貯まるMaaSプラットフォームをLINEを活用し構築。公共交通利用者だけでなく、マイカー利用者も使えるサービスにし、地域全体の移動総量を増やし、マチ活性/健康増進に繋げる。				○		○	R2日
31	石川県加賀市	ス) 加賀市スマートシティ推進官民連携協議会	ス) スマートシティ加賀推進計画	ス) ・ドローンの有人地帯での目視外飛行が可能となった社会を見据えた、3DマップおよびAI管制プラットフォームの活用による、被災エリアの地形把握やドローンの空撮映像による被害前/被害後の3D比較分析の有効性検証、および災害時における物資輸送に係る実証実験。					◎	○	R2デ、R2日、 R2ス
32	石川県中能登町	未) 中能登町	未) デジタルを活用した障がい克服先進のまちづくり	未) ・観光ガイド支援事業 ・古民家鍵管理・コンサルジュ事業 ・伝統技術の継承と観光産業化事業 ・持続可能なグリーンスローモビリティ事業	○						
33	福井県永平寺町	地) まちづくり株式会社ZENコネク	地) 永平寺町MaaSプロジェクト	地) ・将来的に普及するコネクテッドカーや自動運転と連携した市内の移動サービスの高度化を目指し、既に導入済みの自動運転サービスやデマンドタクシーの知見も踏まえながら、車両走行データの活用や運行時リスクの洗い出しを通じた、自家用有償ドライバーのサービス品質担保や、それも含めた運行システム全体での安全性の向上等の効果を検証する。			○			○	R2-R1地 R2-R1ス
34	岐阜県中津川市	未) 中津川市	未) 超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業	未) ・自動運転技術の導入・運営 ・自動運転予約アプリの開発 ・拠点の創出・運営	○						
35	静岡県静岡市	日) 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト	日) 令和3年度 静岡型MaaS基幹事業実証実験	日) ・中山間地にて「地域の資源を総動員した誰にでも使いやすい交通運行実験」を実施し生活支援サービスとの連携による地域住民の活動増進とコミュニティ形成を目指す。また、市街地にて「静鉄電車沿線の活性化及び運賃収入回復・混雑平準化に向けたOne to oneクーポン配布実験」を実施し、まちなかでの賑わい増進、鉄道利用回復、混雑平準化を狙う。以上の取り組みを通じて、地方移住の推進に向けた移動サービスの持続性と利便性の両立を目指す。				○		○	R2-R1地 R2-R1日
36	愛知県岡崎市	ス) 岡崎スマートコミュニティ推進協議会	ス) 新たな時代の流れを力に変えて（スマートシティの深化・浸透）	ス) ・地域電力小売会社からスマートサービスへ電力供給するモデルケースを構築し、エネルギーマネジメントシステムの活用により対象エリアへの再エネ供給比率を高めつつ、公共空間における効率的な静脈物流の自動運転を行う実証実験。					◎	○	R2ス
37	愛知県春日井市	地) 高蔵寺スマートシティ推進検討会	地) 地区内オンデマンド型自動運転サービスへの配達機能追加と受容性分析	地) ・ニュータウンにおける高齢者の移動手段の確保という課題に対し、自動運転サービスの提供を計画。今年度はオンデマンド型自動運転サービス（レベル2）に貨客混載による配達機能を重ね合わせ、住民の利便性・満足度を調査すると共に事業採算性の検証を行う。	※		○			○	R2-H30未、R1地、R2日、 R2-R1ス
38	三重県多気町・明和町・大台町・度会町・大紀町・紀北町	ス) 三重広域連携スーパーシティ推進協議会	地) マルチパーパス車両を活用したオンデマンド医療MaaS ス) 顔認証決済機能付きデジタル地域通貨の開発（共通ID連携モデル）	地) ・対象6町における医療費増大の抑制を目的に、6町でマルチパーパス車両（移動診療車）を共同利用し、高齢者宅の近傍にて、オンライン診療・オンライン受診勧奨を行い医療アクセス不良の解消可能性を検証。また、上記を通し複数自治体による広域医療サービスの導入やマルチパーパス車両による公共交通（移動）と医療サービスの併用の事業性を検討する。 ス) ・複数サービスに共通ID「Mie-ID」アプリからシームレスに利用できるサービス及び顔認証決済機能を付与したデジタル地域通貨サービスの実証実験。			○		○	○	
39	京都府精華町、木津川市（けいはんな学研都市（精華地区・西木津地区））	ス) スマートけいはんなプロジェクト推進協議会	ス) グリーン・サステナブルけいはんな事業	ス) ・サイバー空間において水害発生等を仮想的に再現して人や車の移動に与える影響をシミュレートし、住民ワークショップなどで共有する。また、移動コワーキング等の実証を行い、ニーズの検証、インセンティブの設計などを行う実証実験。					◎	○	H30デ R2-R1ス
40	京都府与謝野町	日) WILLER株式会社	日) WILLER株式会社	日) ・地方都市における生活交通の確保を目的として、地域のあらゆる移動ニーズの集積を行い、アプリ上で公共交通とAIオンデマンド交通を複合した社会システム（MaaS）を創ることで、地域の移動総量を拡大し地域課題の解決を図る。 ・具体的には、生活エリア内を自由に移動できるサービスと、エリア外の主要な施設を結ぶAIオンデマンド交通に、公共交通を組み合わせることで、マイカーと同等以上の魅力的な交通サービスを構築することで、マイカーが無くても自由におでかけができるまちを目指す。				○			R2-R1日

R3年度 スマートシティ事業合同審査 採択結果

項番	事業を行う地域	実施団体	事業名	事業概要	未来技術社会実装事業	データ連携促進型スマートシティ推進事業	地域新MaaS創出推進事業	日本版MaaS 推進・支援事業	スマートシティモデルプロジェクト	採択事業のうち複数事業連携が見込まれるもの	過年度事業の対象
41	大阪府大阪市	地) 大阪商工会議所MaaS社会実装推進フォーラム 異業種連携による生活者行動データ共同取得実証実験WG	地) MaaS&BOPIS(Buy Online Pickup in Store)サービスの実証	地) ・アフターコロナを見据えた都市中心部の混雑回避を目指し、予約来店システムの導入・モーダルシフトのインセンティブ付与による混雑回避(中心部への来訪ピークシフト)の効果検証を行う。また、非混雑時間帯に関しては、情報提供・交通費の一部補助・マイクロモビリティのクーポン提供による集客回復(外出促進)効果の検証も実施し、集客回復と混雑回避の最適化に向けた検討・検証を行う。			○			○	
42	大阪府河内長野市	ス) 咲っく南花台リビングラゴ2.0運営研究会	ス) オールドタウンの持続性を高める先端技術実証事業	ス) ・地域活動や公共施設管理に地域通貨と連携したポイントを付与し、活動変容を調査し効果的な地域通貨のあり方を検証、遠隔診療システムを導入し、医師・患者のニーズや診療の信頼性向上を検証、及び移動支援利用者の活動変容を調査し効果的な自動運転のあり方を検証。	※				○	○	R2-H30未
43	大阪府豊能町	デ・ス) 一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会	デ) コンパクトスマートシティプラットフォームの社会実装 ス) コンパクトスマートシティプラットフォームの新技术・データ活用における分析調査	デ) ・都市OSの整備 ・多数のサービス(高齢者・子供見守り、買物困難者支援、地域通貨、災害時避難支援等)と連携し、自治体がサービスを選ぶだけで住民サービスを開始できる環境の構築 ス) ・スマートシティを実施・運営する上で必要なメンテナンス、維持管理費、運営する人件費などの費用等を踏まえて、維持コストが確立できるビジネスモデルを含めた検証を行う実証実験。		○			○	○	
44	兵庫県加古川市	ス) かこがわICTまちづくり協議会	ス) 安全・安心を核とした加古川スマートシティ推進事業	ス) ・3D都市モデルを活用した次世代見守りサービスのリニューアル検討に係る実証、遠隔環境での健康増進活動支援サービスに係るデータ連携実証及び見守り端末(戸別受信端末)を活用した防災避難行動支援の実証実験。					◎	○	H29デ R2ス
45	兵庫県播磨科学公園都市	地) 神姫バス株式会社等	地) 西播磨MaaS実装プロジェクト	地) ・自家用車分担率が高い当地域において、都市内利便施設等に関する情報提供を実施すると共に、MaaSプラットフォームと次世代モビリティによるラストマイル交通を組み合わせた新しいモビリティサービスを商業施設・オフィス・研究機関と連携したビジネスモデルによって展開し、人流の変化とサービス事業性の検証を行う。			○				
46	和歌山県太地町	未) 太地町	未) 自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業	未) ・自動運転による持続可能な公共交通サービスの実現 ・海域における物資輸送や鯨類調査等の実現 ・防犯カメラ等を活用した高齢者見守りシステム構築の実現	○						
47	和歌山県すさみ町	ス) すさみスマートシティ推進コンソーシアム	ス) 防災道の駅中心の防災対応高度化・自動化事業	ス) ・災害時の物資運搬について、スマートフォンオーダーによる道の駅と避難所間のドローン物流、必要物資量の算出の検証を行う実証実験。					◎		
48	島根県美郷町	地) 株式会社バイタルリード	地) 事業性に重点を置いた過疎地域型MaaS実証実験	地) ・公共交通サービスが限定的な地域において、過去の実績等を元にした価格設定にて定額乗合タクシーの実証運行を行い、その事業性を確認すると共に、地域に最適な価格水準の探索に取り組む。			○			○	R1日
49	広島県三次市	ス) 中山間地・自立モデル検討コンソーシアム	ス) 中山間地・自立モデル検討事業	ス) ・支えあい交通、バス及びタクシーを連携させたシームレスな乗り継ぎ、支えあい交通とバスを連動させた貨客混載輸送の実施、地域内交流促進のためのリモートでイベント参加できる映像配信サービス並びに支えあい交通を活用した農作物出荷代行及び遠隔確認システムの実証実験。					◎	○	R2-R1ス
50	香川県三豊市	地) ダイハツ工業株式会社	地) 複数の通所介護施設共同送迎モデルにおける社会実装に向けた実証事業	地) ・昨年度事業において、通所介護施設の送迎を社会福祉協議会が集約することで効率的な送迎を実施する取組の事業性を検証。今年度は、来年度からの本格的な社会実装に向け、通所介護施設の共同送迎サービスに加え、非送迎時間を活用した利用者への食事配達を実施し、通所介護施設からの収益獲得可能性及び共同送迎サービスの事業性向上可能性の検証を行う。			○			○	R2地
51	愛媛県松山市	ス) 松山スマートシティ推進コンソーシアム	ス) 松山スマートシティプロジェクト	ス) ・自動運転車両を想定した次世代モビリティサービスの導入に向けた予約システムの構築と運行実験とプロパー調査等によるサービス導入による市民の行動変容の実証(フィールド実証)及びフィールド実証と併せたイベント実施によるまちの活性化策の実証実験。					◎	○	R2-R1ス
52	愛媛県新居浜市	ス) 新居浜地域スマートシティ推進協議会	ス) 地域・健康ポイント/見守り統合事業	ス) ・既存の地域ポイントと健康ポイント、ICタグ見守り事業の都市OS活用によるデータ連携・統合の実証及びICタグ見守りの避難所への活用(避難者人数カウント)の実証実験					○	○	R1デ、R2-R1ス
53	佐賀県嬉野市	未) 嬉野市	未) 「I♡URESHINO」 新たな交流拠点の誕生を契機に取り組み“Withコロナ観光まちづくり”	未) ・嬉野の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり ・来訪者の安心な移動を支えるモビリティサービス ・地域課題等の解消に向けたデータプラットフォームの利活用	○						
54	佐賀県基山町	地) きやま地域創生モビリティ研究会(代表企業:株式会社福山コンサルタント)	地) 地方都市におけるモビリティを活用した域活性化プロジェクト	地) ・町内輸送の効率化に向け、時間帯別移動需要に応じて、同一車両を高頻度シャトルバス、オンデマンド交通、通勤・通学シャトルバスに割り当てることで、サービス受容性や事業性を検証する。また、モビリティ活用により収益向上等の効果が期待できる事業・施設と連携(貨客混載等)した際の相乗効果についても検証する。			○				
55	長崎県	デ) 長崎県	デ) 「つながる長崎」データ連携基盤整備事業	デ) ・都市OSの整備(県内全各市町が利用) ・防災分野、観光分野のダッシュボード(地図)の整備		○					

R3年度 スマートシティ事業合同審査 採択結果

項番	事業を行う地域	実施団体	事業名	事業概要	未来技術社会実装事業	データ連携促進型スマートシティ推進事業	地域新MaaS創出推進事業	日本版MaaS 推進・支援事業	スマートシティモデルプロジェクト	採択事業のうち複数事業連携が見込まれるもの	過年度事業の対象
56	熊本県人吉市	デ) 人吉市	デ) 人吉市「ライティング防災アラートシステム」構築事業	デ) ・都市OSの整備 ・逃げ遅れゼロを目指す「ライティング防災アラートシステム」の構築		○					
57	熊本県荒尾市	ス) あらおスマートシティ推進協議会	ス) 生体認証による防災セキュリティ見守り事業	ス) ・顔認証などの生体認証データをマイキープラットフォームやパーソナルデータエコシステムにより他のパーソナルデータと連携することで、既存のスマートシティ取組（ヘルスケア、エネルギー、モビリティ）への利活用等新たなサービス・価値を創出する実証実験。					◎	○	R2ス
58	宮崎県	日) 宮崎県におけるMaaS実行委員会	日) 宮崎県におけるMaaS事業	日) ・昨年度実証実験を実施した取り組みを、シームレスで持続可能な公共交通サービスの提供に向け、事業者の枠を超えたハード面の整備と、MaaSを活用したソフト面の整備を融合させた、地域でのMaaSを更に実装フェーズに昇華させるための取り組みを実施する。デジタルチケットの有効性判定の自動化、ならびに利用データ取得に向けたQRコードの活用という実装時に必要となる取り組みを主な内容として実施する。				○		○	R2日
59	宮崎県延岡市	延岡市等 未) 延岡市 ス) 延岡市スーパーシティ構想準備協議会（国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」プロジェクトチーム）	未) 市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業 ス) 行動解析を応用した交通システムの最適化等	未) ・知力・体力・人間力を育む「世界一の子育て・教育のまち延岡」事業 ・行動パターン分析による交通網を最適化事業（マイカー卒業社会の実現）及び「逃げ遅れゼロ」の避難対策構築事業 ・行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業 ス) ・住民の行動データ（ライフスタイルデータ）を取得し、人工知能による分析を行うことで、ライフパターンを解析し、シミュレーションにより最適な公共交通網の構築や交通手段（バス、自家用有償運送、乗合タクシー、シェアサイクル等）の検討、及びその効果を予測する実証実験。	○				○	○	
60	沖縄県	日) 第一交通産業株式会社	日) 沖縄スマートシフトプロジェクト（沖縄県におけるMaaSの社会実装）	日) ・様々な交通モードを実績のあるMaaSアプリ「Myroute」で繋げることやAIオンデマンド交通走行による二次交通へのアクセスを向上させることなどシームレスな移動の実現と交通分散を図り、地域課題を解決する。また非接触・キャッシュレス手続きなど感染症対策による利用者の安心感の醸成やモーダルシフト、EV利用などカーボンニュートラルの取組を行うことで持続可能なモデルを構築する。さらにデジタルの特性を活かし、得られた情報を交通事業および交通以外の事業の行動変容に利活用すると共にタイムリー且つ効果的な情報発信をしていくことで周遊性の向上および地域経済の活性化を促進する。				○			
61	沖縄県宮古島市	日) ジョルダン株式会社（宮古島MaaS協議会）	日) 地域課題解決に寄与する為のあいのりタクシーサービスと観光客向けモバイルチケットを連携融合させたMaaS実証事業	日) ・あいのりタクシーの本格運用に向けての持続可能性を高める取組として、事前集客割引、事後集客、ダイナミック時刻表、ダイナミックプライシングを実証する。また、経路検索アプリ+モバイルチケットと連携したサブスクリプション・各種企画チケットもあいのりタクシーとの連携を行い、収益性の効果検証を実施する。				○		○	R2日
62	沖縄県北谷町	地) 北谷観光MaaS共同事業体	地) 北谷観光MaaS	地) ・観光エリア内における自動走行カートの運行と併せ、町内にシティエアターミナルを設置しWebチェックインと手荷物検査を可能にすると共に直行シャトルバスを提供することで、空港手続きやレンタカー返却における混雑を緩和するとともに町内消費を増加させる取組（ハブ&スポーク）を実施。上記取組を通じた航空機との接続最適化やパッケージプランとしたときの価格受容性、ニーズの検証を実施する。			○				
					9	9	14	12	30	42	

※R3年度も支援実施中（本事業は複数年支援のため）

◎：先行モデルプロジェクト
○：重点事業化促進プロジェクト